



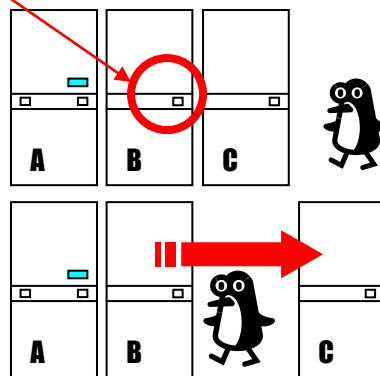
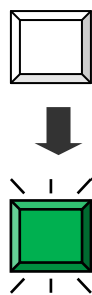
電動集密書架の使い方

- ✓ 学情センターのB2F、B3F、8Fには電動集密書架があります。
- ✓ 書架の間に、荷物や踏み台を置いたまま放置しないでください。
- ✓ 利用に際して、注意事項(裏面に記載)をよく読んでご利用ください。

利用方法

書架を動かすには

スイッチを押して、電気を点滅させます

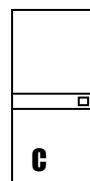
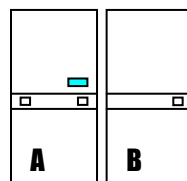
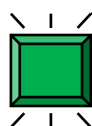


Bの書架の本を見たいので、Bのスイッチを押します

- ▶ 利用したい書架のスイッチ（緑）を押すとスイッチの電気が点滅します。そして書架が自動的に動き、通路の電気が付きます。
- ▶ 通路が開いたら、スイッチが点滅していることを確認して、通路に入ってください。
- ▶ スイッチを押しても書架が動かずブザーがなるときは、利用中（開いたまま）の書架が近くにあります。書架の間に人がいないことを確認してから、開いたままの書架のスイッチを押して点滅を消してください。
- ▶ 8F 特殊資料庫の電動書架は省エネモードになっています。電源の入⇔切を動かすと電源が入り、操作できるようになります。

利用が終わったら

スイッチを押して、点滅を消しておきます



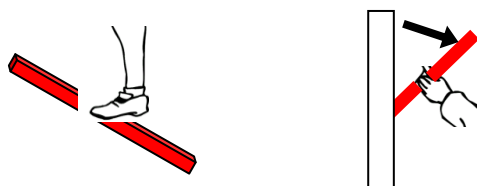
- ▶ 利用が終わったら、点滅している書架のスイッチを押してください。
- ▶ スイッチの点滅が消えて、操作終了です。（このとき通路は開いたままで構いません）

緊急の場合

急に書架が動き始めたら、次の方法で書架を停止させてください。

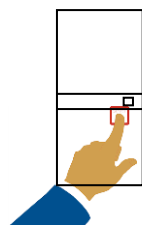
通路の中にいるとき

- ▶ 足元にある赤色のバーを踏み込んでください。
- ▶ または、書架の両端の柱についている赤色のバーを倒してください。



通路の外にいるとき

どれでもかまわず、手近にあるスイッチを押してください。



注意事項

- ▶ 通路を閉じるときは、その通路の中に人がいないこと、踏み台などのものがないことを確認してから、行ってください。
- ▶ 通路の中に、踏み台や荷物を置いたままにしないでください。故障の原因となります。
- ▶ 長時間閲覧等をするときは、資料や荷物を持って閲覧機に移動しましょう。通路を開けたままにすると、それ以外の通路が使えず他の利用者の迷惑となります。
- ▶ 使った踏み台は、元の置き場所に戻してください。

お問い合わせ先

書架が動かないなどのトラブルの際は、2F カウンター（内線 3240）にご連絡ください。その際、あわせてフロア・書架の番号・状態（例「B3F・C2-11 がスイッチを押しても動かない」）をお知らせください。